

工事現場等へのCO₂フリー（RE100）電力の導入について

京急建設株式会社（社長：土屋剛、以下当社）は、2024年6月24日（月）にエネサーブ株式会社との「電気受給基本契約」の締結を行いました。これに基づき、当社では順次、工事現場で使用する仮設電力に、同社が提供する再生可能エネルギーに非化石証書を付与したCO₂フリー（RE100）の電力を活用してまいります。

また、工事現場におけるCO₂フリー電力の導入とあわせて、2024年11月から鶴見工事事務所（当社建築本部管轄）においてもCO₂フリー電力へ切り替えを行います。（同事務所の2023年度電気使用量は30,637kWh・CO₂排出量は約11.9t-CO₂）

今後もCO₂フリー電力の適用範囲を順次拡大し、建設事業を通じて脱炭素化を図るとともに、SDGs 13「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献してまいります。

【導入する電力について】

1. 対 象 工事現場、工事事務所、工事作業所等における仮設電気
2. 種 類 再生可能エネルギーにトラッキング付非化石証書※を付与したCO₂フリー（RE100）の電力
3. 契約先 エネサーブ株式会社（大和ハウス工業㈱100%連結子会社）

※再生可能エネルギーやそのほかの非化石エネルギー源から発電された電力の環境価値を証明する証書で、発電所の所在地や発電方法などの具体的な情報が含まれている。



（エネサーブ株式会社 <https://www.eneserve.co.jp/power-retailing.html> より引用）



（仮設分電盤）



（仮設LED照明）